

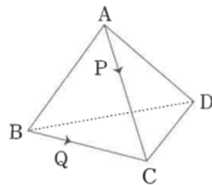
令和5年2月4日に実施いたしました第2回中学入試2時間目の算数の出題について、グラフに誤りがあることが判明いたしました。ここにお詫びして訂正いたします。

本校が出題したグラフは下図の左側ですが、正しいグラフは右側となります。どちらのグラフを用いても(1)(2)の解答は変わりませんが、(3)(4)は解答が異なります。

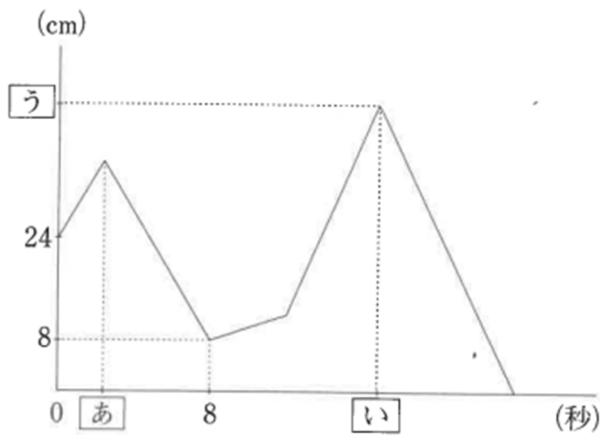
令和5年2月4日当日の合否判定時には、本校が実際に出題したグラフでの解答のみを正解としていたため、正しいグラフを用いた場合の解答も正解とし、合否判定を見直しました。その結果、本件に関する合否結果の変更は生じませんでした。

- 9 すべての辺の長さが24 cmの三角すいABCDがあります。
- 2点PとQはそれぞれ一定の速さで三角すいの辺上を移動します。2点とも1つの頂点に到達すると、戻ることなしに他の2方向のどちらかに進みます。PはAを出発してCの方向に移動し、QはBを出発してCの方向に移動します。
- グラフはPとQが同時に出発してからの時間とPとQの「へだたり」の関係を表したものです。ただし「へだたり」とはPとQを三角すいの辺上を経由した道のりの中で最も短い長さのことをいいます。Pの速さは毎秒2 cmです。

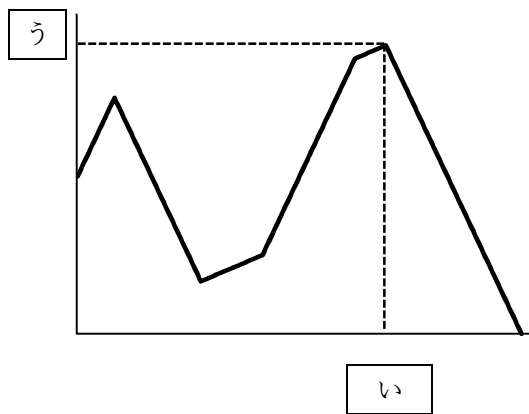
- (1) Qの速さは毎秒 cmです。
- (2) グラフの あ は 秒です。
- (3) グラフの い は 秒です。
- (4) グラフの う は cmです。



実際に出題したグラフ



出題すべきであった正しいグラフの形



受験生とその保護者の皆様はもとより、その他多くの皆様にご迷惑とご心配をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。また、入試問題は学校の教育方針の具現化であることを再認識し、教職員一同、再発防止に努めて参ります。

今後とも、ご支援の程、よろしくお願いいたします。